

# 安来市の福祉に関するアンケート調査

## <調査ご協力のお願い>

安来市の福祉行政の推進につきましては、平素から格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

本市では現在、「安来市地域福祉計画・地域福祉活動計画（第4期計画）」の策定に取り組んでいます。

このアンケート調査は、18歳以上の市民の方の中から2,000人を無作為に選ばせていただき、ご協力をお願いするものです。市民の皆さまが、本市が取り組むべき福祉の課題をどのように考えておられるのかをお伺いし、地域共生社会の実現に向けた新しい計画の基礎資料とするために実施します。

ご回答いただいた内容は、統計的に処理し、計画策定以外の目的には使用しませんので、ありのままをご回答ください。皆さまには、アンケート調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和6年9月

安来市役所 健康福祉部 福祉課

### ■ ご記入の際は

- ① このアンケートは、宛名のご本人がご記入、もしくはご家族や介護者、支援者の方が、ご本人と相談の上、ご記入ください。
- ② 選択肢の該当する番号を○で囲んでください。○をつけるときは、( )内に指定した数の範囲内でお答えください。
- ③ 質問によっては、回答していただく方が限定される場合がありますので、案内に沿ってお答えください。
- ④ 「その他」を選んだときは、その内容をできるかぎり( )内に具体的にご記入ください。
- ⑤ この調査はパソコンやスマートフォンでの回答も可能です。右の二次元コードもしくは下のURLからアンケートのページにアクセスしていただき、ご回答ください。



【URL : <https://questant.jp/q/H390PGT8>】

▲Web回答用 二次元コード

### ■ 調査票の返送について

ご記入後は、**無記名のまま**、同封の返信用封筒に入れて**10月2日（水）まで**にポストに入れてください（切手は不要です）。  
※WEBで回答いただいた場合は、紙の調査票への記入及び返送は必要ありません。

## <問い合わせ先>

安来市役所 健康福祉部 福祉課

TEL : 0854-23-3224 FAX : 0854-32-9008

## 基礎的事項

問1 あなたのお住まいの地区についておうかがいします。(1つに○)

- |          |          |          |          |          |
|----------|----------|----------|----------|----------|
| 1. 社日地区  | 2. 十神地区  | 3. 赤江地区  | 4. 荒島地区  | 5. 飯梨地区  |
| 6. 能義地区  | 7. 大塚地区  | 8. 吉田地区  | 9. 宇賀荘地区 | 10. 島田地区 |
| 11. 広瀬地区 | 12. 山佐地区 | 13. 布部地区 | 14. 比田地区 | 15. 安田地区 |
| 16. 母里地区 | 17. 井尻地区 | 18. 赤屋地区 |          |          |

問2 あなたの年齢を教えてください。(1つに○)

- |         |         |         |           |         |
|---------|---------|---------|-----------|---------|
| 1. 10歳代 | 2. 20歳代 | 3. 30歳代 | 4. 40歳代   | 5. 50歳代 |
| 6. 60歳代 | 7. 70歳代 | 8. 80歳代 | 9. 90歳代以上 |         |

問3 あなたの性別を教えてください。(1つに○)

- |       |       |           |
|-------|-------|-----------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他( ) |
|-------|-------|-----------|

問4 あなたの家族形態を教えてください。(1つに○)

- |               |           |       |
|---------------|-----------|-------|
| 1. 単身         | 2. 夫婦のみ   | 3. 親子 |
| 4. 3世代(親と子と孫) | 5. その他( ) |       |

問5 あなたの世帯は、主に何で生計を立てていますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                                       |                   |
|---------------------------------------|-------------------|
| 1. 会社員                                | 2. 自営業            |
| 3. パート・アルバイト・内職                       | 4. 農業(畜産含む)、林業、漁業 |
| 5. ご自身の年金(国民年金、厚生年金、共済年金、障害年金、遺族年金 等) |                   |
| 6. 家族の年金(親や子、兄弟姉妹、祖父母の年金)             | 7. 仕送り収入          |
| 8. 公的扶助(生活保護)や社会手当(児童手当・児童扶養手当 等)     |                   |
| 9. その他( )                             |                   |

問6 あなたの世帯で福祉的な支援が必要な方はいますか。(1つに○)

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

【問6で「1. いる」と回答した方におうかがいします。】

問7 福祉的な支援が必要な方の状況について教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- |                        |                       |
|------------------------|-----------------------|
| 1. ひきこもり               | 2. ニート* (15歳以上~34歳以下) |
| 3. 無業者(35歳以上~59歳以下)    | 4. 認知症                |
| 5. 障がい者(児)(身体・知的・精神)   | 6. 要介護の高齢者            |
| 7. 依存症(アルコール・ギャンブル・薬物) | 8. 学童保育(子どもの預かり)      |
| 9. 不登校                 | 10. ひとり親              |
| 11. その他( )             |                       |

\*ニート：15~34歳までの家事、通学・就業をせず、職業訓練も受けていない人のこと。

## 地域との関わりについて

**問 8 あなたは、隣近所の人とどの程度の関わりがありますか。(1つに○)**

- |                         |                |
|-------------------------|----------------|
| 1. 家を行き来するなど親しくつきあっている  | 2. 会えば立ち話をする程度 |
| 3. あいさつをする程度            | 4. ほとんどつきあいはない |
| 5. 隣近所にどんな人が住んでいるかわからない |                |

**問 9 あなたは今後、隣近所の人とどの程度の関わっていきたいですか。(1つに○)**

- |                                |
|--------------------------------|
| 1. 日頃から話せるような親しくつきあえる人がほしい     |
| 2. 日常生活で困ったときに相談したり、助け合える人がほしい |
| 3. 災害時・緊急時であれば助け合えるようなつきあいはしたい |
| 4. あいさつ程度で、それ以上は望まない           |
| 5. 近所の人と関わりたくない                |
| 6. その他 ( )                     |

**問 10 あなたは、地域の助け合い活動に参加したいと思いますか。(1つに○)**

- |            |            |            |
|------------|------------|------------|
| 1. ぜひ参加したい | 2. 参加してもよい | 3. 参加したくない |
| 4. その他 ( ) |            |            |

**問 11 あなたの地域で、どのような助け合い活動が必要だと思いますか。(3つまでに○)**

- |   |                         |
|---|-------------------------|
| 1. 見守り・声かけ                                | 2. ほっとサロン(旧ミニサロン・ミニデイ)  |
| 3. 生活援助サービス(買い物支援、ごみの分別、ごみ出し、移動支援、話し相手 等) |                         |
| 4. 地域の居場所づくり(茶話会、会食、健康体操、ゲーム 等)           |                         |
| 5. 調理・配食サービス                              | 6. 自主防災組織・避難訓練・災害時の避難誘導 |
| 7. その他 ( )                                |                         |

**問 12 あなたは、ボランティア活動に参加したいと思いますか。(1つに○)**

- |            |            |            |
|------------|------------|------------|
| 1. ぜひ参加したい | 2. 参加してもよい | 3. 参加したくない |
|------------|------------|------------|

**問 13 どのような条件であれば、地域活動やボランティア活動に参加したいと思いますか。(3つまでに○)**

- |                     |                   |
|---------------------|-------------------|
| 1. 気軽に参加できる         | 2. 身近なところで活動できる   |
| 3. 活動時間や曜日を自由に選べる   | 4. 経済的な負担が少ない     |
| 5. 家族や友人などと一緒に参加できる | 6. 適切な指導者やリーダーがいる |
| 7. 特技や趣味、知識が活かせる    | 8. 活動に対する謝礼などがある  |
| 9. その他 ( )          | 10. 特にない          |

## 生活上の困りごとなどについて

問 14 生活する上で、困りごとや不安なことはありますか。(5つまでに○)

### 【住まいに関すること】

1. 現在の家屋では生活しづらいこと(老朽化、段差、トイレ、風呂場 等)
2. 自宅、自宅周辺の手入れができないこと

### 【医療、介護・介護予防に関すること】

3. 医療機関が遠く、時間がかかること
4. 介護サービスが利用しづらいこと(手続きやサービス内容がわからない、経済的理由)
5. 家族の介護のこと
6. 介護予防や健康づくりができる拠点・場所がないこと

### 【生活支援に関すること】

7. 生活(経済的)に困窮していること
8. 買い物や通院などの外出が、1人では困難であること
9. ごみの分別がわかりづらいこと、ごみの集積場までが遠いこと
10. 公共交通機関(イエローバス等)が少なく、外出が不便なこと
11. 一人では預貯金の出し入れが不便なこと
12. 近くに買い物ができるところがないこと(スーパーや商店 等)

### 【その他】

13. 困ったときに、どこに相談に行けばよいかかわからないこと
14. 自治会・町内会の役割が負担なこと
15. お墓の管理ができないこと
16. 地震等で被災した場合、どこに避難すればよいかかわからないこと
17. 地震等で被災した場合の避難所までが遠いこと
18. 子どもを預かってくれる場所(施設・学童保育等)が少ないこと
19. 子育ての悩みを聞いてくれる場が少ないこと
20. 同世代の交流の場が少ないこと
21. ひとり暮らしで寂しいこと
22. 就労場所が少ないこと
23. 近所づきあいが困難で問題を抱えていること
24. お金がなく、日々の生活に困窮していること
25. お金の管理ができないこと
26. 安心できる居場所がないこと
27. その他 ( )

**問 15 あなたや同居している家族が病気や高齢になるなど、日常生活が不自由になったとき、同居の家族以外で主に誰を頼りますか。(最もあてはまるもの1つに○)**

- |                                 |               |                                 |
|---------------------------------|---------------|---------------------------------|
| 1. 市内の家族・親戚                     | 2. 市外の家族・親戚   | 3. 友人・知人                        |
| 4. 近所や同じ町内の人                    | 5. 民生委員・児童委員  | 6. 社会福祉協議会                      |
| 7. 介護支援専門員（ケアマネジャー）、介護サービス事業所職員 |               |                                 |
| 8. 地域包括支援センター                   | 9. 相談支援専門員    | 10. 市役所                         |
| 11. 頼る人がいない                     | 12. 誰にも頼りたくない | 13. その他（                      ） |

**問 16 あなたや同居している家族が病気や要介護状態になるなどして、日常生活が不自由になったとき、どのような生活支援サービスを希望しますか。(希望するもの5つ以内に○)**

- |                                   |                                 |
|-----------------------------------|---------------------------------|
| 1. 買い物支援サービス                      | 2. 金銭管理・財産保全（管理等）サービス           |
| 3. 掃除支援サービス                       | 4. 調理支援サービス                     |
| 5. 洗濯支援サービス                       | 6. 配食支援サービス                     |
| 7. ごみ出し支援サービス（ごみの分別、ゴミ出しの手伝い）     |                                 |
| 8. 通院などの同行支援サービス                  | 9. 定期的な見守りや話し相手                 |
| 10. 緊急通報サービス（危険なときに自ら緊急を知らせるサービス） |                                 |
| 11. 災害発生時の避難の支援                   |                                 |
| 12. 家の管理（家のまわりの草刈り、屋内外の片づけなど）     |                                 |
| 13. 身元引受人支援サービス※ <sup>1</sup>     | 14. 入居債務保証支援サービス※ <sup>2</sup>  |
| 15. 児童あずかりサービス                    | 16. 入院、入所手続き支援サービス              |
| 17. 誰でも入居できる低料金の生活支援ハウス（共生型集合住宅）  |                                 |
| 18. 終末期・死後の支援サービス                 | 19. その他（                      ） |

※<sup>1</sup> 身元引受人支援サービス：高齢者が契約するときに身元保証をしてくれるサービス

※<sup>2</sup> 入居債務保証支援サービス：家賃等について継続的な支払いができる方で、賃貸住宅に入居する際の保証人がいないために住居の確保ができない方を対象に滞納家賃等を保証するサービスのこと。

**問 17 賃貸住宅への入居、病院への入院、施設への入所の際に高齢であることを理由に必要となる身元保証人など頼れる人がなく不安を感じていますか。(1つに○)**

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1. 感じている | 2. 感じていない |
|----------|-----------|

**【問17で「1. 感じている」と回答した方におうかがいします。】**

**問 18 不安の具体的な内容を教えてください。(自由記述)**

--





## 災害に関することについて

**問 26 あなたは、防災に対する日ごろからの取り組みや、災害などの緊急時の対応について、教えてください。**

(①～⑤について、それぞれ1つに○)

項 目	はい	いいえ	わからない
① 災害時の避難場所について知っていますか	1	2	/
② 日ごろから地域の防災訓練に参加していますか	1	2	/
③ 地域の自主防災組織（自治会などを母体に、地域の住民が防災活動をする組織）に入っていますか	1	2	/
④ 災害等の緊急時に、避難所への誘導などの手助けが必要ですか	1	2	3
⑤ 災害等の緊急時に、高齢者や障がいのある人等の避難行動要支援者*の避難等の手助けができますか	1	2	3

※避難行動要支援者：災害が起こったとき、自宅から避難所まで自力で避難することが難しく、避難に特に支援が必要な人のことです。いざというときに避難を支援するために、あらかじめ把握する名簿を作成しています。

**問 27 災害時にあなたが不安に感じることはどのようなことですか。(3つまでに○)**

1. 避難場所がわからない	2. 災害の情報を正確に得られるか不安
3. 自分や家族が安全に避難できるか不安	4. 近所に避難できるか気がかりな人がいる
5. 食料や水が確保できるかわからない	6. 避難所での生活が不安
7. その他 ( )	

**問 28 避難行動要支援者を手助けするにあたっては、どのような機会や取り組みがあれば手助けがしやすくなると思いますか。(2つまでに○)**

1. 制度のわかりやすい説明を受けること
2. 近所の人や、自治会等で情報を共有しておくこと
3. 支援が必要な人と、普段から交流しておくこと
4. 支援が必要な人と訓練に参加すること
5. その他 ( )
6. わからない

## 福祉のまちづくりについて

**問 29 あなたは「成年後見制度\*」についてどのくらい知っていますか。(1つに○)**

1. 名前も内容も知っている	2. 名前は聞いたことがある
3. 制度を利用、相談したことがある	4. 全く知らない

※成年後見制度：認知症、知的障がい、精神障がいなどの理由で判断能力の不十分な方に対し、不動産や預貯金等の財産管理、福祉サービスの契約等が困難な場合に、本人に不利益が生じないよう支援する制度です。

**問 30** 今後あなたやあなたの家族が認知症などにより判断する力が衰えたとき、成年後見制度を利用したいと思いますか。(1つに○)

- |               |                       |
|---------------|-----------------------|
| 1. 利用したい      | 2. 現在利用している、利用したことがある |
| 3. 利用するつもりはない | 4. わからない              |

【問30で「3. 利用するつもりはない」または「4. わからない」と回答した方におうかがいします。】

**問 31** 選んだ理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- |                                      |
|--------------------------------------|
| 1. 制度をよく知らないから                       |
| 2. 利用する必要がなさそうだから                    |
| 3. 手続きが難しそうだから                       |
| 4. 後見人であっても他人に財産など個人的なことに関わってほしくないから |
| 5. 後見人とのやり取りが面倒だから                   |
| 6. 後見人へ報酬を支払いたくないから                  |
| 7. その他 ( )                           |

**問 32** あなたは地域に刑務所出所者等がいた場合、犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思いますか。(1つに○)

- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| 1. 全面的に協力したいと思う | 2. ある程度は協力したいと思う |
| 3. 犯罪の背景や程度による  | 4. 協力したいと思わない    |
| 5. 関心がない        | 6. わからない         |

**問 33** 刑務所出所者等が円滑に社会復帰できるように支援することについて、あなたの考えに特に近いものを選んでください。(2つまでに○)

- |   |
|---|
| 1. 住民の協力を得て社会全体として積極的に支援すべきだ              |
| 2. 行政や関係機関が責任をもって積極的に支援すべきだ               |
| 3. 少年院からの出所や認知症・障がいのある人の出所については積極的に支援すべきだ |
| 4. 一般住民として生活できるよう事業所や市民への啓発が必要だ           |
| 5. 地域の安全・安心のためにはある程度の支援が必要だ               |
| 6. 特別な支援や配慮は必要ない                          |
| 7. 関心がない                                  |
| 8. その他 ( )                                |



**問 39 誰もが住みなれた地域で安心して生活していくために、どのようなことが必要だと思いますか。**  
**(3つまでに○)**

1. 福祉や保健に関する情報提供を充実させる
2. 福祉や保健に関するサービスを提供する事業者を増やし、サービスの種類を豊富にする
3. 1 か所で何でも相談や手続きができる体制を整備し、容易に行えるようにする
4. 身近な地域で相談や手続きができる体制を整備する
5. 判断能力がなくなっても権利を守ってくれる組織の体制を整備する
6. 地域における福祉や保健に関する活動の中心となる人材（地域福祉のリーダー）を育てる
7. 自治会や社会福祉協議会等の地域福祉活動に関する組織の育成を支援する
8. 福祉や保健に関するボランティア活動を活発にする
9. 地域福祉活動の拠点を整備する
10. 地域福祉活動を支えるための会費や寄付を募る
11. 学校等での福祉や保健に関する教育を充実させる
12. 道路・商店・病院・公共施設・公共交通機関などのバリアフリー化を進める
13. 移動手段を確保する
14. 医療機関が充実する
15. その他（）

**問 40 地域福祉を進める上でのご意見やご要望がありましたら、自由にご記入ください。**

<p>地域に対して （自治会、交流センター、 民生委員・児童委員、保護司等）</p>	
<p>社会福祉関係機関に対して （施設等の介護サービス事業所 社会福祉協議会 地域包括支援センター 等）</p>	
<p>市役所、小中学校に対して</p>	

～質問は以上です。ご協力ありがとうございました～